

SORI YANAGI × SYUSSAIGAMA

柳宗理の手仕事

～ 出西窯 黒土瓶の作陶から～



2008年10月10日(金) - 11月3日(月)

会場：アンジェ河原町店3階

協力 渋谷松涛 ギャラリーTOM/企業組合 出西窯/有限会社 柳ショップ

柳宗理/黒土瓶 (2004)

柳宗理の手仕事

～出西窯 黒土瓶の作陶から～

柳宗理(1915～)は日本を代表するプロダクトデザイナーであり、その仕事の範囲は広く、カトラリー、食器、家具などの日常用品から大きなものは歩道橋やオリンピック聖火台にまで至っています。パタフライツールに代表される柳のデザインは余計な装飾を削ぎ落としたシンプルなフォルムに美しさと機能を兼ね備え、多くの人々に支持されてきました。

「デザインはワークショップから生まれる」と考える柳はすべてのかたちを絵や図からなく模型作りから始めます。そのデザインプロセスは昨今のデジタルの世の中に見非効率とも思えるほどに一つひとつ手を使ってかたちにしています。それは、常々プロダクトデザインも手仕事から生まれると語る柳にとって、手仕事と機械生産というその手段の違いはあっても、人間の用途のため真摯に作り出すという行為に何ら変わりないのです。



柳宗理の代表作「黒土瓶」の仕事は、多くの工人の協同製作によって量産する手仕事と機械生産を結ぶ理想的な仕事であったのではないのでしょうか。

「黒土瓶」は最初ここ京都の河井寛次郎の五条坂窯で作られました。当時は試作に留まり流通までには至りませんでした。半世紀を過ぎた2004年秋、島根県にある出西窯において製品化されました。ただそこに至るまでには、陶工達の長年の研究と新しい事に挑戦しようとする気持ちとたゆまない努力無しでは実現しえなかったことでしょう。

この「黒土瓶」から、柳のデザイン姿勢である手で考えること、つまり「手仕事」の意味を垣間見る事ができます。本展示会を通じて、現代社会の中で失われつつある“手で考える”ことの意味と大切さを感じとって頂けたら幸いです。



イベント概要：黒土瓶の製作工程の展示、「黒土瓶 復刻 - 柳宗理と出西窯」DVD上映(カラー15分)、出西窯の歴史を交えた製品展示

販売予定品目：出西窯 柳ディレクションシリーズ、他柳宗理デザインプロダクト、新刊「Yanagi Design」等関連書籍

出西窯(しゅっさいがま)：島根県簸川郡斐川町にある陶器の窯元。昭和22年、陶芸には無縁だった5人の若者が集まり創業開始。しばらくして柳宗理の父、宗悦や河井寛次郎などから民芸の話聞き深く感銘を受ける。その後から今日まで、無自性の理念のもと、民衆のための普段使いの器を作り続けている。

当店へのアクセス

- 京都市営地下鉄・東西線「京都市役所前」駅から徒歩約1分
- 阪急京都線「河原町」駅から徒歩約10分
- 京阪本線「三条」駅から徒歩約5分
- 京都市バス「河原町三条」下車、すぐ
- 当店には専用駐車場・駐輪場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用下さいませ、お願い申し上げます。

ANGERS 〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル西側
www.angers.jp tel.075-213-1800 open.11:00-21:00 会期中無休

